

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況				事業所コメント	外部コメント
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	3	4			事業所独特の理念をあげている。 事業所計画と職員の個別研修計画にも、 記載されている。	・開設したばかりなのでよくわからない。
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	2	5			研修やミーティングを通し、理解を深めている。	・開設1年ですが経験者揃いなのでサービスの理解は十分できている。 ・事業所でしっかり理解していると思うが今後も継続してほしい。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	3	4			日々の申し送りや、定期的なミーティングを通し、オペレーターの判断能力向上の為にカンファレンス等行っている。 定期的にヘルパー研修を行い、専門技術の向上、知識向上に努めている。	・時間のない中でどのくらいの頻度でミーティングが 出来ているか知りたい。 ・個々のサービスに合わせて対応の統一はできている。 ・今後も研修を行い、技術知識等の向上に努めてほしい。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	3	4			業務作成時、利用者の希望や個々の職員に合わせた配置を行い、各自の能力が発揮できるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない職員でしっかり対応をしていると思う。 ・少ない人員の中で管理者が細かな配慮しながら行っている。 ・よくしてもらっている。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	3	4			タブレット内での情報共有や、電話での連絡、相談も随時行っている。担当者会議の際にも話し合いを行っている。個々のカンファレンスを定期的に行いたい実践できていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間体制の中で、少人数でのシフト構成でカンファレンスのじかんの確保も難しいと思う。集まる以外でのやり方を検討してはどうか。 ・よくわからない。看護さんにはすぐに連絡してくれている。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	実施状況				事業所コメント	外部コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(2) 適正な人材の育成									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適かつ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	4	3		日々の訪問に加え、急なサービス時間の変更や、受診日や、デイサービス利用日の出発前や帰宅後の訪問も希望に沿うように柔軟に、シフト変更等で受け入れ、対応している。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況に応じて対応されている。 ・少人数の中オペレーターを配置しシフト作成は苦勞されていると感じている。 ・急な訪問にも対応してもらっている。 ・テレビ電話で呼んで来てもらっている。 	
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		6	1	推進会議は適時適切に開催している。サービス状況、問題点を、報告し、多職種からの提案、助言を頂き、サービスの改善に反映させてもらっている部分もあるが、1回しか開催しておらず、助言を頂いたが反映できていない事がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・助言して頂いた事をどのように反映したか報告できるといい。 ・年2回の会議で、1年目であり事業所を理解して頂くのは、時間がかかる。 ・よくわからない。 ・介護教室、地域向けに病気の勉強会などしてほしい。 	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき ている	こ と が 多 い ない	全 く で き て い ない		
I 構造評価(Structure)【適切な事業運営】									
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	3	4			フェニックスネットを活用し利用者状況を随時入力し、確認することにより、サービス間で迅速に共有することができる。	・フェニックスネットを有効に活用している。 ・そのネットワークがどんな仕組みなのか、よくわからない。知りたい。
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	3	3	1		車両、自然災害、緊急時の対応マニュアルがあり、随時確認している。避難訓練、消火訓練を年2回行い、確認をしている。夜間帯の防犯対策がどのように行動したらよいかわからない。	・災害、緊急時等はマニュアルがあっても実際には、マニュアル+応用が出来ないと動けないと思うので、実践を交えながら行って下さい。 ・具体的に問題点を検討していくとよい。 ・訓練をしているのはわかる。 ・夜中の訪問は大変なので気をつけてほしい。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	5	2			法人内で、個人情報取り扱い規定があり、職員間では、共有されている。	・十分気をつけて取り扱っていると思う。 ・定期的に確認していくとよい。 ・よくわからない。 ・十分に気をつけてほしい。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない		
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	3	4			サービス開始時に、ケアマネ、ご家族、ご本人から聞き取りを行い、反映させている。更新、利用者の状態の変化ある時は、サービス間でカンファレンスを行いアセスメントしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が変化のない時でもしっかりとアセスメントを行い見直しをして下さい。 ・何かあったらヘルパーに伝える様にしている。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	1	6			担当者会議や、毎月のモニタリングにより共有している。変化時、必要時には、その都度連絡を取っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・看護さんのアセスメントを援助、次の課題、目標に生かしてほしい。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	1	6			利用者の意欲や、残存機能を、高めるように、訪問介護計画書を作成している。自立支援に向けて、アセスメントを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・残存機能を高めるような計画とはどのようにしているか知りたい。 ・わからない。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	実施状況				事業所評価	
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	事業所コメント	外部コメント
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	1	4		2 わ か ら な い	サービス開始時、状態変化時には、カンファレンスを行い、心身機能、生活機能、背景に合わせ、長期、短期目標を立て、利用者の出来ることが増えるように、介護計画書を作成している。	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理をする事で利用者の重度化を防ぐと思うので変化してからカンファレンスをするのは当たり前だと思うので、変化を予測して計画をして下さい。 ・計画書は見ている。 ・わからない。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	2	5			急な外出や、デイサービスや、ショートの変更、利用者の体調の変化等、家族との関わりの中で、望まれる訪問の変更にはできる限り対応している。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の少ない中で希望通りにいかない場合もあると思うがしっかり対応していると思う。 ・大変な時は来てもらっている。 ・緊急訪問は大変だと思う。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	6	1			日々のサービス提供により、把握した変化を、フェニックスネットや、電話連絡でケアマネに状況報告し、早期把握、適宜反映に努めている。 毎月のモニタリングも行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングをし計画に反映した事例はあるか。 ・毎月モニタリングを確認している。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	実施状況				事業所評価	
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	事業所コメント	外部コメント
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	1	6			介護では把握できない身体状況の変化は看護職に連絡を取り指示を仰ぎ、柔軟なサービスを行っている。看護は医療面、介護は医療以外の部分と分担されている。	・看護を利用していない方には医療面をどのように対応しているか。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	7				看護の定期アセスメント訪問により、介護への指導、助言はタブレット入力し、確認する事で適宜行われている。	・タブレットにアセスメント訪問を入れてもらう事により看護からの視点での助言が把握しやすくなった。 ・タブレットで確認している。
10									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	3	4			サービスの趣旨や特徴については、契約時に重要事項説明書を用いて口頭で説明させてもらい、ご理解を頂いている。	・契約時の説明だけではなかなか理解できない所もあると思います。 ・よくわからない所もある。 ・難しい所があるので何度も説明が必要かと思う。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	5	2			計画書の内容については、利用者、家族を交えて説明し納得して頂いてからサービス提供している。 不満など聞かれた際には、再度説明をさせて頂いている。	<ul style="list-style-type: none"> 理解して頂くのは大変だと思いますが助言していると思う。 家族の意向を考えて計画をして行ってほしい。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	4	3			家族が在宅の時は、直接報告し、不在時でも、連絡ノート、メモ等にて報告、相談を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> しっかり対応されている。 家族とよくコミュニケーションを取って下さい。
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	3	4			情報は、タブレット、モニタリング、電話等で、共有されています。 サービス提供日時も、確認しながら、決めている。	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネと相談して対応されている。 体調の変化時など連絡を頂いている。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている		7			主に毎月のモニタリング、電話連絡などケアマネへの提案を必要時行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネへ提案した事例はあるか。 連絡をもらっている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況				事業所評価	
				できて いる	ほぼ できて いる	でき てい ない	全 く で き て い ない	事業所コメント	外部コメント
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	3	3	1		担当者会議では、訪問時の利用者の状況について、計画書の目標状況も合わせ情報は提供している。	・目標の達成状況を担当者会議で提供出来てるのは参考にさせていただきます。 ・情報提供して頂いています。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		2		5 わ か ら な い	ケアマネを通じて行えている。	・事業所間で共通認識できるように研修等で時間を作ってはどうか。 ・わからない。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	1	1		5 わ か ら な い	在宅に戻る時は退院時カンファレンスに参加し、サービス間の情報を共有を行いますムーズに在宅へ戻れるようにしている。	・これからも継続して下さい。 ・わからない。と答えた人に一度伝える時間があるとい

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	実施状況				事業所コメント	外部コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている (※任意評価項目)		2		5 わからない	フェニックスネットでの連携にて、情報共有している。担当者会議時に、サービス間の情報、意見を交わし、共有し合い 利用者の状況に応じて、必要なサービスを提案、検討している。	・フェニックスネットに入っていない事業所への連携方法も検討して下さい。 ・わからない人に一度事業所研修を行うとよい。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている			3	4 わからない	前回の会議録の掲示をしておらず、迅速な対応が必要。	・掲示してもなかなか読まないので工夫して周知して下さい。 ・事業所研修を行うとよい。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			3	4 わからない	パンフレットを作成し、地域の行事に参加し、定期随時サービスの宣伝活動をし広報周知をしているが、認知度がまだまだ低い。継続して活動が必要。	・頑張って啓蒙活動を行って下さい。 ・事業所研修を行うとよい。 ・2回しか開催していないので会議の様子を見る感じでなかなか意見するのは難しい。 ・いいサービスだと思うが、よく理解はしていない。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	実施状況				事業所評価	
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	事業所コメント	外部コメント
II 過程評価(Process)									
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		2	4		地域包括ケアシステムの概念は理解している。 フェニックスネットにて、多職種間で、利用者の情報を共有し、それぞれの職種が必要な情報を活用しサービスを提供している。	<ul style="list-style-type: none"> どのように包括ケアシステムについて職員に理解してもらったか知りたい。 難しい事なのでわからない。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	2		4		事業所を立ち上げて12月で一年になるが、サービスは現在特定の建物には限定されておらず、地域に広くサービスを理解されるように努めている。	<ul style="list-style-type: none"> これからも広く展開して下さい。 このエリアにも出来て良かった。いいサービスなので頑張ってもらいたい。 地域に向けて宣伝して行ってほしい。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている (※任意評価項目)			3	4 わからない	自事業所の事だけで、手一杯になっている所があり、安心して暮らせるまちづくりの提案等行えていない。	<ul style="list-style-type: none"> これからだと思わずに少しずつ活動を行って下さい。 これからと思います。 まずはしっかりと実績を作り多職種との連携を築きながら進めていくといいと思います。 アルツハイマーや病気などの勉強会をしてほしい。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	実施状況				事業所評価	
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	事業所コメント	外部コメント
Ⅲ 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	2	5			毎月のモニタリングで目標の達成状況を確認している。 達成できなかった時は、見直や改善する様に検討を行った。	・達成できた時も新たな目標を検討して下さい。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	2	5			利用者の状況に合わせて複数回訪問しており、安心感に繋がっている。 遠方のご家族より、独居でも在宅生活が続けられる。と安心感を持って頂けた。 施設に入らなければならないと諦めていたが、不安も軽減され在宅生活に自信が持てる様になった。とお言葉を頂いた。	・安心がある事で在宅生活の継続に繋がると思うのでこれからも頑張ってください。 ・もっとサービスの周知とご本人、家族の声を伝えていくといいと思う。使っている方の評価が一番である。 ・家族の負担が減った。 ・自分出来る事が増えて良かった。 ・一日に何回も来てくれるのでありがたい。 ・いつも同じ職員が来てくれるといい。